



また、先週の水曜日 23 日には、当クラブがホストとしまして、3 クラブ合同会議が開催され、役員・理事の方と出席してまいりました。3 クラブの懇親が深められた会議になったと思います。役員・理事の方、大変お疲れ様でした。

さて、昨年の暮れには、日産自動車のゴーン容疑者逮捕、RIZAP グループの赤字転落と大きなニュースが続きました。建築業界では、INAX や TOSTEM などの建材メーカーを傘下におく LIXIL グループのトップ人事も大きなニュースでした。社外から招いたトップが 2 年余りで退き、創業家が CEO に復帰するという事態になりました。LIXIL で起きている事を、販売代理店の社長は次のように明かしています。

「退任したトップは、現場をよく見る人でしたが、販売代理店の私たちには『シェアが落ちている』と数字の話ばかりされていました。その影響なのか、毎年、次年度の商品内覧会があるんですが、そこでの担当者は、冒頭から輸入品ばかりの話をしていました。自社製品ではなく、輸入品のことから話し始めるなんてことは、私には初めてのことで、短期で成果を上げたいと思えました。以前は、『こんな商品を開発していくぞ』と夢のある話が多かったのですが。」と言い、さらに続け「以前の LIXIL には、目を輝かせて働く社員が多くいましたが、変わりました。トップメーカーだから、腰を落ちつけて新商品を作り、市場を広げていくという気概が必要なのに、幹部も社員も数字ばかりでかわいそうです。何のために事業をしているのか、という理念が全然伝わってきません」ということを。

話が変わりますが、働くことも生きることなので、「何のために働くか」という問いへの答えは「何のために生きるか」という問いへの答えとほぼ同じと考えられます。

古代ギリシャやローマの哲学者は、「人は誰もが幸福であることを望む」といっています。幸福は、望まなければ望まないでいられるようなものではなく、人間が生まれながらに持っている、生きていくための願望だといえます。働くことも幸福であるためでなければならぬはずですが、もしも今、「幸福ではない」と感じたら、それは、働き方に改善の余地があるからだと思われます。

では、どんな働き方であれば「幸福である」と感じられるのでしょうか。端的に言えば、「他者に貢献している」いわゆる、利他であれば幸福であると感じられるといえます。

別の言い方で、心理学者のアドラーは、次のように言っています。「靴屋が靴を作る時、自分を他者にとって必要なものにしている。公共に役立っているという感覚を得ることができ、そう感じられる時にだけ、『私には価値がある』と思える幸福感がある」ということを。

理念と数字を両立するのは、なかなか難しいものですが、前述の LIXIL の社員には、働くことによる幸福感があったのか、疑問であります。トップが、数字ばかり追っていて「何のために働いているんだろう」という理念を、おろそかにしていると、幸福感のある働き方はできないのではないかと思います。

このように考えた時、我々、事業を営む人間にとってすべきことの 1 つは、働くことつまり生きることによって幸福感を与えられるような仕事をする模範になることではないでしょうか。今月は職業奉仕月間であります。我が身を少し振り返るのも良いのかも知れません。

以上、本日の会長挨拶と致します。

平成 31 年犬山警察署感謝状披露（鈴木一成副幹事）

1 月 10 日（木）南部公民館講堂において、平成 31 年犬山警察署感謝状贈呈式が開催され、日比野会長が出席。感謝状をいただきましたので披露いたします。



その他委員会報告

◎広報・雑誌委員会（中村大輔委員長）

本日、皆様のお手元にあります「ロータリーの友」に社会奉仕の藤井委員長の事業が載っております。内容は、大判タオル寄贈についての内容となっております。特に取り上げられた部分は、継続事業を見直そうという部分で、タオル一枚一枚に子供たちがメッセージを付けた部分です。そして、市長からのコメントにも感謝という事がきちんと載っております。ロータリーの友、右開きの 30 ページ、左開きの 47 ページ 2 段目にあります。今一度、ご覧になって頂きたいと思います。

以上、報告とさせていただきます。

◎職業奉仕委員会（保浦博志委員長）

先日の職場例会へのご参加ありがとうございました。谷津さん、ありがとうございました。出席率も 96% という事で、外でおこなう例会は出席率が高いのかなと思っております。次回の職業奉仕の例会は成田山でおこないます。100%出席を目指して頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。そして、ロータリーの友に、職業奉仕月間という事で職業奉仕の記事が載っております。是非ご覧ください。以上です。

友愛の日
